

まいづる元気人 Vol.63

より高く、より強く、前進し続けたい

今年の2月、全日本中学生バレーボール選抜に選ばれ強化合宿に参加。高い身長を生かしたブロックを武器に日本代表チーム選手としてオランダに遠征した。中学3年生で急成長を遂げ、これからの活躍が期待される藤さんにバレーボールの魅力やこれからの目標を伺いました。



全日本中学生バレーボール
日本代表選手（青葉中3年）
※3月5日現在

ふじなのか
藤菜乃花さん

きっかけは母の勧め

バレーボールを始めたきっかけは、経験者であった母親の勧めで小学4年生の時に地元の南舞鶴スポーツ少年団に入団したこと。6年生の時には将来オリンピックをはじめとする国際競技大会で活躍できる選手を育てる「JOCエリートアカデミー」に認定されるなど将来のトップアスリートとしてすでに期待されていた。青葉中学校に進学後は「夢を追うことに迷い、バスケットボール部に入学しようか迷った」と本音を語る。それでも「バレーボールが好き」という強い思いを持ち続け中学校生活の3年間バレーに打ち込んだそう。そしてその思いがあったからこそ、この短期間で日本代表チームに選ばれるまでの選手に成長した。

チームメイトと家族

「セッターとアタッカーの息の合ったコンビバレーや相手コートへの狙いなどを皆で話し合い、それをチームでできた時はうれしいです。それがチームスポーツのバレーの魅力だと思います」と教えてくれた。

刺激を受けた海外遠征

また、持久力を付けようとバスケットボールをしている妹と一緒に走り体づくりに励み、母からは技術的なアドバイスをもちろんな、人生の先輩としてさまざまなことを吸収している。このような家族の協力や支えもありバレーに打ち込めると話してくれた。

初めての海外遠征の感想

初めて海外遠征の感想を聞くと、「とても刺激的だった」と振り返る。昨年末に開催された「JOCジュニアオリンピック」全国都道府県対抗中学バレーボール大会に京都府代表として出場し、この大会で優秀選手に選ばれた。これをきっかけに全国からわずか12人しか選ばれない全日本中学生バレーボール選抜強化合宿に参加し、日本代表としてオランダに遠征。「今回の合宿に参加して自分の実力のなさを痛感しました」と世界レベルの高さに触れた。しかし、技術も高さもまだまだ満足できないものの、代表選手に選ばれたことで自信につながり、改めてうまくなりたい気持ちが強くなったと意気込む。

感謝の気持ち

「今回日本代表に選ばれたのは、直接支えてくれていた家族や先生、友達のほか間接的に支えてくれている人がいるおかげ。その人々への感謝も決して忘れてはいけなと思っています。そしてバレーをする人が減っている中で自分のことをバレーに魅力を感じてもらえるような選手になりたい」と理想の選手像を話してくれた。今の目標は、春の高校バレーに出場し、全日本ユースに選ばれることだという。

これからもより高く、より強く前進し続ける藤さん。この舞鶴から全国、そして世界へジャンプしてくれることを期待したい。



▲後輩にアドバイスする藤さん



3月9日、海上自衛隊北吸気橋を中心に「京都舞鶴防災フェスタ2019」を開催しました。府北部を震源とする大規模地震により医療機関が被災した想定で、護衛艦「ひゅうが」の艦内に広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）を設置。自衛隊や海上保安庁、京都府警察、DMATなど約30機関1,200人が参加し、情報伝達訓練や負傷者の救出・搬送訓練、合同救護所訓練など関係機関との連携を確認しました。

また、会場には約8,000人が来場し、訓練の様子を見学したり、防災展示や自衛艦の一般公開などに見入っていました。

日本海側の広域防災拠点としてこれからもさまざまな機関と連携し、災害に備えた訓練を実施していきます。

《危機管理 防災課》



京都舞鶴防災フェスタ2019

守りたい命がある



まいづる
花図鑑

vol.150



キラソウ（ジゴクノカマノフタ）（シソ科）

本州以南の山ろくや道端の土手などに生える多年草。根元の葉は長さ4～6センチ、幅1～2センチで縁には粗い鋸歯があり放射状に広がる。茎は四方に広がり地面にへばりついて伸び、葉は小型になる。春、伸びた葉の葉腋に数個ずつ紫色の小花を付ける。花は長さ1センチ、上唇は短く2裂し、下唇は上唇より大きく3裂する。

名前の由来は不詳。別名ジゴクノカマノフタは、茎が地面を覆うように広がることから。漢方では、筋骨草と呼び、解熱、咳止めなどに用いる。

【協力】 瓜生勝朗／市文化財保護委員（植物分野）